

事業基盤の強化

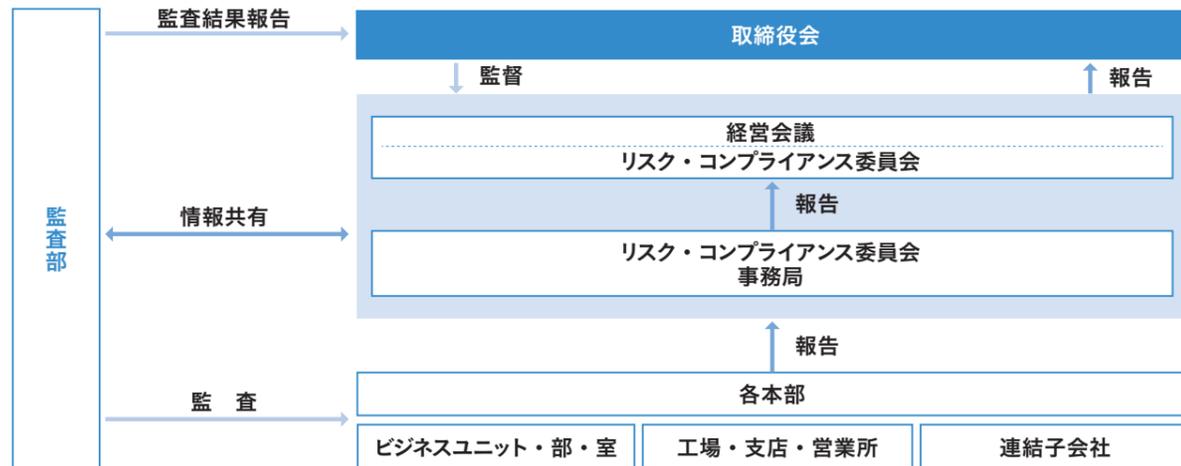
# リスクマネジメントの強化

当社グループでは、企業目的の達成に影響を与える要因を「リスク」と捉え、リスク管理を徹底しています。「リケンテクノスグループ リスク・コンプライアンス基本規程」に基づき、「リケンテクノス ウェイ」の実践、企業行動規範の遵守、経営の健全性確保、安定的な事業継続、人命優先、コンプライアンス精神の浸透ならびにステークホルダーの利益阻害要素の除去・軽減を図る観点から、リスクマネジメント・コンプライアンスに取り組むことを基本方針としています。

## リスクマネジメント体制

当社グループでは、リスクマネジメントの実効性を高めるとともにコンプライアンスの更なる向上を図るため、リスク・コンプライアンス委員会においてグループを取り巻くリスクを一元的に管理しています。リスク・コンプライアンス委員会では、グループ全体のリスクの洗い出しと分析・評価に加え、重要リスクの把握および重点対策リスクの特定、ならびにその対

応策の策定を行っています。また、人権リスクの特定・評価も併せて行っています。これらのリスクについては、半期ごとに対応策の進捗状況確認と見直しを行い、必要に応じて関係各部門に対して改善指示を行うなど、グループ全体の総合的なリスク管理を行っています。



リスク・コンプライアンス委員会の構成	
委員長	社長執行役員
副委員長	専務執行役員・常務執行役員
メンバー	執行役員
オブザーバー	監査等委員である取締役

社長執行役員を委員長とし、経営会議のメンバーである全執行役員によって構成され、社外取締役もオブザーバーとして参加しています。原則として半期に一度開催し、活動内容は取締役会に適宜報告しています。

リスク・コンプライアンス委員会の活動内容	
<ul style="list-style-type: none"> <li>全社的リスクマネジメントおよびコンプライアンスに関する体制の整備、推進方策の決定、取り組みの周知</li> <li>リスクマネジメントの進捗状況の評価、分析および対策の検討</li> <li>コンプライアンスマニュアルの整備および社内規程等の整備状況の評価</li> <li>コンプライアンスに有効な制度およびシステム等の決定</li> </ul>	

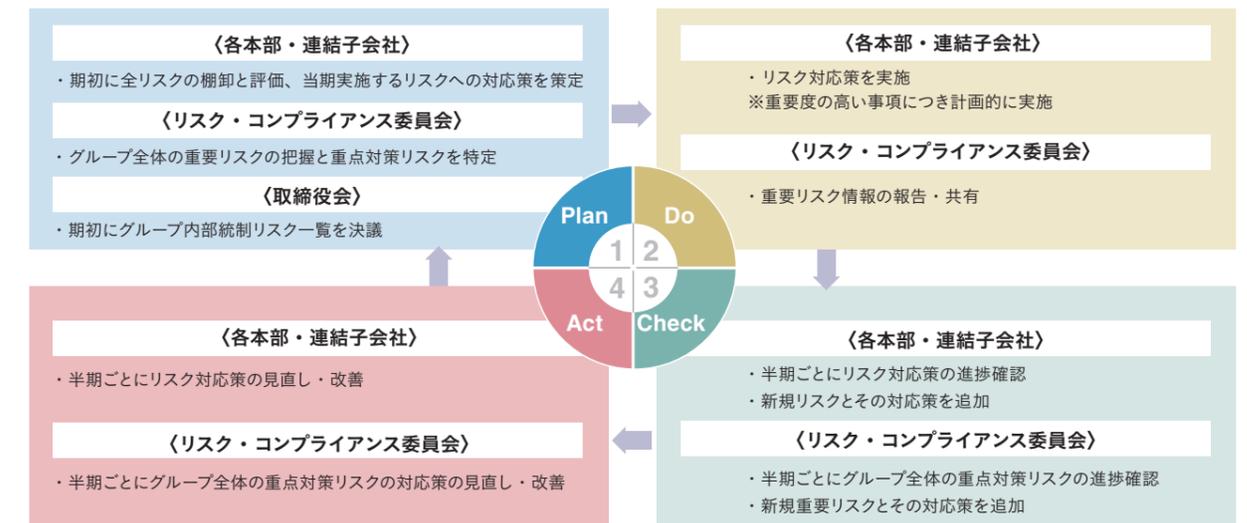
## リスクの特定プロセス

各本部・連結子会社は、事業運営に影響をもたらすリスクを網羅的に抽出し、期初に内部統制リスク一覧を作成します。これらのリスクをリスク・コンプライアンス委員会において統合・評価したうえで、期を通して経営陣が積極的に関

与すべきグループ全体の重点対策リスクを特定します。

グループガバナンス（内部統制）強化のため、網羅的・横断的にグループ全体のリスク把握とその対応策のPDCAサイクルを回し、グループ全体で一貫したリスクマネジメントを実施しています。

## リスクマネジメントPDCAサイクル



## 当社グループにおける重点対策リスクと対策の概要

重点対策リスク	リスクの概要	対策の概要
1 自然災害・感染症の流行	・大規模な自然災害や感染症のまん延等により、事業活動に支障が生じるとともに、本邦・世界経済の大幅な減速により、財務状況に悪影響が生じるリスク	・自然災害・感染症のまん延等のリスク発生時の対応体制の確立 ・事業継続マネジメント (BCM) 体制の構築
2 システムダウン・情報漏洩	・サイバー攻撃等によるシステムダウンや情報漏洩により社会的信用が失墜するリスク	・グループ全体のITセキュリティレベル調査に基づく改善策立案・実施 ・グループ通信ネットワークの見直しによるセキュリティ強化
3 設備故障・設備過剰・遊休設備の発生	・設備故障による生産停止のリスク ・設備過剰・遊休設備の発生により経営資産の効率的な運用が困難になるリスク	・設備保全体制の強化 ・生産数量の平準化、稼働率向上
4 化学物質関連法規制への対応不足	・化学物質関連の法規制への対応不足により社会的信用が失墜するリスク	・化学物質管理体制の改善継続 ・デザインレビュー (DR)・製品安全調査の強化
5 環境問題への対応遅れ	・環境問題への対応の遅れによる競争優位性低下のリスク	・CO <sub>2</sub> 削減計画の具体化

## 事業基盤の強化 リスクマネジメントの強化

## BCPおよび緊急事態対応

当社グループでは、自然災害、火災、テロ等の緊急事態が発生した場合に備えてBCP（事業継続計画）を策定し、優先製品や復旧活動における各部門の役割などを定めています。また、緊急事態発生時の組織体制や各従業員の具体的な行動手順などを「緊急事態対応基本規程」および「災害対応手順書」に定め、定期的な訓練を行うことで、被害・損害を最小化する体制を整えています。



応急措置訓練（研究開発センター（東京））

## 情報セキュリティ

当社グループでは、サイバーセキュリティ対策への取り組みを強化するために、「リケンテクノスグループ 情報システム管理規程」および「リケンテクノスグループ 情報セキュリティ規程」を定め、ITセキュリティの強化、情報漏洩リスクなどへの対策を講じています。また、アクセス制限・データの暗号化などにより情報漏洩リスクの最小化に努め、最新のプロテクトシステムを導入しています。

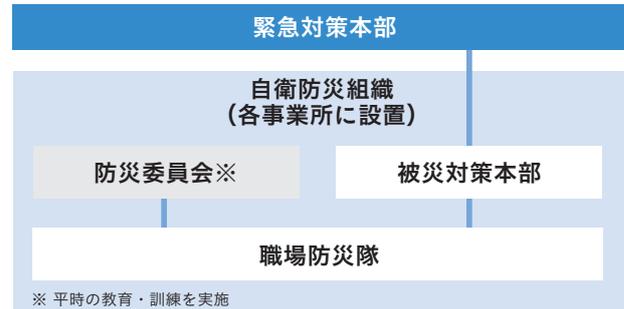
従業員のリテラシー向上を図る取り組みとしては、毎年全社員を対象に実施しているITセキュリティ講習において、ウイルス感染や情報漏洩をはじめとする情報セキュリティ事故の防止策や事故発生時の対応について周知を行うことに加え、標的型攻撃メール訓練による実践的な教育も実施しています。

また、サイバーセキュリティ事故の未然防止活動と発生時の対応を主導する体制として、リケンテクノスCSIRTを構築し、2023年度に活動を開始しました。

## 連結子会社の経営管理

経営企画本部が連結子会社の経営管理全般の所管部署として、各連結子会社における内部統制システム構築の指導および情報の共有化を推進し、グループ経営の効率性・健

## 災害対応組織



消火訓練（三重工場）

全性を確保しています。

各本部は、「リケンテクノスグループ連結子会社管理規程」に基づき、連結子会社の経営状況・財務状況等について必要な報告を受けています。また、連結子会社において、リスク事象が発生した場合の報告先や報告方法を同規程に定め、迅速かつ適切に対応する体制を整えています。

経営企画本部は、社長および関係する執行役員参加のもと、最低年2回、連結子会社による業務報告会を開催しています。また、全連結子会社が参加する情報共有会を半期ごとに開催し、グループ規程の制定・改定情報やグループ内のリスク事象、そのリスク事象に対する対策の好事例等の共有を行っています。

## 内部監査

監査部は、監査等委員会と連携して当社および国内外の連結子会社の監査を実施することにより、組織的かつ実効的な監査を実施できる体制を整えています。内部監査状況については、監査部から監査等委員会に報告するとともに経営会議および取締役会に報告しています。また、代表取締役社長執行役員に対しても毎月定期的に報告を行うなど、実効的なデュアルレポーティングラインを構築しています。